●第一回教会親睦卓球交流会 in 東京ライトハウスチャーチ（9 月 16 日月曜日（祝日））

関東の卓球大好きな牧師先生や教会員約 30 名が集まり卓球交流会を開催しました。2 時間ほど練習した後にチームに分かれて対抗戦を行いました。TMTC(Tokyo Missionary Tabletennis Club) の宣教師の先生方が盛り上げてくださいました。参加した皆さんのレベルが高く白熱していました。また、中学生から 70 代まで年齢を超えて、教会の壁を超えて交われたことに感謝します！
卓球の後に、各教会の証しを聞く時間を持ち、スポーツミニストリーの可能性が宣言され、今後日本の教会でどのように卓球を用いていくか分かち合う時間を持ちました。卓球ミニストリーを始めると言われた教会、韓国の卓球宣教チームを迎えて卓球の指導者を育ててもらいたい！希望溢れるビジョン！ハレルヤです。
『卓球を通して日本にリバイバルを!!』一歩踏み出しました。

卓球を通して共に礼拝し、卓球を通して日韓が一つに！

●第 14 回韓国 APM （Acts29 Pingpong Mission）卓球大会にも日本から参加しました。（10 月 12 日土曜日）

祈祷課題

●2020 年東京オリンピックに向けて、主の導きの中で進んで行くことができますように。
●ロードレース大会出場、かけっこ教室、ストレッチクラスなどのすべての場所において、参加する方と共に「キリストにあってスポーツも礼拝です！」を体をもって体験することができますように。
●2020 年 1 月 13 日に開催される第 22 回断食祈祷聖会 2020 の講師として立ちます。スポーツミニストリーが広まる良い機会となりますように。

スポンサー

「歯科医療と福音」
Hirayama Dental Clinic
平山歯科
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町 3-11 木村ビル 2F
TEL/FAX 03-3233-1108
http://www.hirayama-dental.com/

北海道から沖縄まで聖火と共に、聖霊の火を点けていきましょう！！

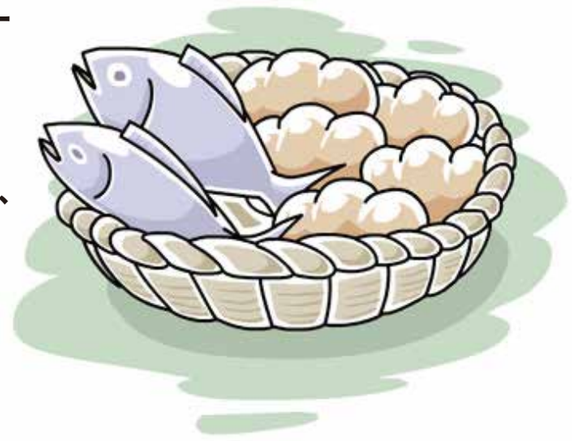
アスリートチャーチ
〒244-0842
神奈川県横浜市栄区飯島町 1444-1 リリファ本郷台 404 号
金ジングク TEL 090-6376-8231
EMAIL teamjksc@hotmail.co.jp
鈴木まどか TEL 090-6376-8232
EMAIL madosuzu@hotmail.com
顧問：米内宏明（国分寺バプテスト教会）池田恵賜（本郷台キリスト教会）

【支援先】 **ゆうちょ銀行**
記号 10940
番号 19737561
他金融機関からの振込の場合
店名 〇九八（ゼロキュウハチ）
店番 098
預金種目 普通預金
口座番号 1973756
口座名 アスリートチャーチ運営委員会

キリストにあって、スポーツも礼拝です！
ATHLETE CHURCH AC アスリートチャーチ NEWS LETTER
vol.05 2020 January

2020 年東京オリンピックの年
スポーツを通して神のみわざを共に体験しましょう！！！

**5 つのパンと 2 匹の魚の話は皆さんよくご存知ですよね。イエス様は 5000 人以上の群衆に食べ物を与えることはすぐにおできになる方です。しかし、イエス様は弟子たちに「あなたがたが、5000 人以上の人たちに食べる物をあげなさい」と大きなビジョンを与え、小さな小さな信仰で従った弟子たちを通して配られたもので、みな満腹するという奇跡を行われました。
東京オリンピックの年。神様は私達に「日本のスポーツ界にいる 8000 万人に福音を届ける」という大きなビジョンを与えられました。小さな信仰で、一つ一つ与えられたことに従っていくと、私達を通して神のみわざが成されます。東京オリンピックの年、神のみわざを共に体験しませんか？
必ず皆さんにできることがあります。**



【日本宣教】

スポーツを通して日本にリバイバルを！！

●第 34 回日本信徒前進宣教大会 in 栃木オリーブの里 (6 月 27 日木曜日)

開会礼拝で金ジングクと鈴木まどかが証しとスポーツ宣教の必要性をお話しさせて頂きました。
" あなたがたの間で良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださると、私は確信しています。" ピリピ 1 章 6 節
と関根辰雄先生の熱いメッセージが流れ、会場が一つになり、会場にアーメン！の声が響き渡りました。エリックリデルの映画を用いて、今、なぜスポーツ宣教が必要であるか、スポーツ宣教が日本のリバイバルの鍵となることを伝えました。信仰の大先輩たち 100 人がスポーツに目を向け祈ってくださることを信じます。

●横浜オンヌリ教会 （7 月 13 日土曜日)

未就学児デイキャンプで親子体操の時間を頂きました。行ってみたら、未就学児よりも小学生の方がたくさん来ていてビックリしましたが、最初から最後まで参加させてもらいました！
その中で『体を楽しく動かすことも礼拝です！』と伝えながら、讃美体操、ジャンプ、綱引き、またゲームをしました。学校の運動会でやっている綱引きがこんなに盛り上がるとは思いませんでした！

" 私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。"
ピリピ 4 章 13 節
をみんなで宣言し、体を使って思いっきり礼拝できたことを感謝します。

●横浜オンヌリ教会の子供食堂のイベント in 千歳公園 (8 月 9 日金曜日)

いつも子供食堂を行っている近隣の公園で子供たちと思いっきり遊び、フェスティバルで取り入れているゲームを用いました。公園にいる子供たちも巻き込み、約 40 名ほどの子供と 20 名ほどの大人が参加しました。途中で紙芝居で聖書の話をし、トラクトも配りました。
“今度いつやるの～” という子供たちの声。“大縄跳びをやっている子供の姿を見て癒やされました” とご年配の方の声。本当に感謝でした。
この子供たちとフェスティバルができることを願っています。

●東京ライトハウスチャーチ (8 月 10 日土曜日)

ビックフェスタ (キッズイベント) に参加し、バイブルタイムでメッセージ (ジングク) と讃美体操を、その後の分科会でかけっこ教室を行いました。バイブルタイムでは 100 名くらいの子供たちと保護者みんなで讃美体操をし、証しメッセージを通してピリピ 4 章 13 節のみことばを伝えました。かけっこには 18 名参加してくれました。暑い中みんな楽しく走り、最後には “あなたが神様の金メダルだよ” と 1 人 1 人にメダルをかけて神様の愛を伝えました。まだ神様を知らないたくさんの子供たちが神様を知り、教会に繋がることを願っています。
この東京ライトハウスチャーチは、フットサル、卓球、ダンスとスポーツミニストリーを活発に行っている教会です。共にスポーツミニストリーに携わって行けたらと思います。

●ニューライフチャーチ原チャペル (名古屋) （7 月 29 日月曜日)

宮下優子先生と 2020 年 3 月に名古屋のオアシス 21(中心街) でフェスティバルをするため企画打ち合わせをしました。一般社団法人 LOVE NAGOYA を立ち上げ沢山のイベントに関わっておられます。昨年はこのイベントでゴスペルや演歌讃美で仕えてくださった教会、また有名なワーシップソング歌手達が出演していました。名古屋の河村たかし市長や多くの企業、団体も関わっている中でフェスティバルを開催する予定です。“名古屋の中心で主を叫ぶ！ " 名古屋の教会に協力して頂き、名古屋のど真ん中で主を讃美する素晴らしいフェスティバルになりますように。

注目!

2020年3月25,26日
名古屋オアシス21でフェスティバルを開催することになりました！
愛知の皆さん！名古屋の中心で共に主を讃美しましょう！

●山形市牧師会 （7 月 22 日月曜日)

10 人の先生方が山形南部教会に集まり、アスリートチャーチのアピールの時間を頂きました。中には、4 月に山形米沢で開催された山形福音伝道隊の集会でお会いした先生方もおられ熱い思いで話を聞いてくださっていました。2020 年 6 月には山形でラブソナタ (約 3000 人の伝道集会) が開催され、その前後に山形市でフェスティバルを開催すると話が進んでいます。また、米沢でフェスティバルを体験してくださって、その後実際に鈴川キリスト教会は自分たちでフェスティバルを開催されたそうです。
幼稚園でフェスティバルをしてください！部活に通う子供たちに “スポーツも礼拝です” とアプローチして行きます！讃美体操を用いたいです！という声を聞けたことも感謝でした。とにかく山形は熱く燃えています！
スポーツを通して山形に何かが起こりそうです！期待して祈ります。

注目!

2020年4月28,29日に山形市内でフェスティバルを開催することになりました！ 共にお祈りください！

●山形第一聖書バプテスト教会 (7 月 23 日火曜日)

山形第一聖書バプテスト教会にお邪魔しました。4 月に山形福音伝道隊の集会にも参加しておられた紺野先生と鳥居先生にお会いしました。その後同じ敷地内にある東原幼稚園を見学させて頂きました。70 年間教会と共に地域に仕えて来られた幼稚園を中心にフェスティバルをやりたいという思いをもっておられます。山形のビックフェスティバルと共にこちらも進めていけたらと思います。

●こひつじキリスト教会成沢チャペル (7 月 23 日火曜日)

先日、献堂式を終えたばかりのこひつじキリスト教会成沢チャペルに行きました。入り口は高級温泉旅館みたいな感じで、入ると落ち着いた雰囲気のカフェ、そしてその先には子供たちが喜びそうなハンモックやおもちゃがたくさんあるスペシャルルーム。牧師室に宝箱やあちらこちらに珍しいものだらけでした。誰でも足を運んでもらえる教会を！と会堂を建てる決心をされたとたんに必要なものが全て与えられ、神様が建てられたことを証しする素敵な教会です。教会の前には幼稚園もあり、教会は道沿いで目につく場所でフェスティバルができたらと思っています。また、気仙沼でも仕えてくださっていますので、気仙沼でもフェスティバルができたらいいなと思いました。ちょっと立ち寄るつもりが話が盛り上がり 2 時間近く話をしていました。千葉先生にたくさん元気を頂きました！

●【クリスチャンアスリートを応援しよう！！！】

TESTIMONY

ビクトリーチャペル BOXING クラブ：伊藤直治師とそのご家族

所属教会：ビクトリーチャペル聖書教会

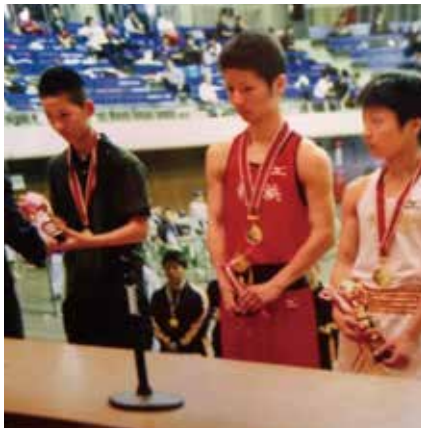
ビクトリー・チャペルBOXINGクラブ（宮城県富谷市）

監督：伊藤直治（牧師） コーチ：伊藤走（元アマチュアボクサー）
競技実績：ボクシング競技で全国高校選抜準優勝、インターハイ３位、全日本選手権３位の実績を持つ。東京農大ボクシング部主将を務める。高校時代は、現在世界チャンピオンの井上尚弥選手と拳を交えた。

こんにちは。ビクトリー・チャペル聖書教会の牧師、伊藤直治です。私は、息子が小学３年の時、彼のコーチとなり、いっしょにボクシングを始めました。未経験者でしたが、独学で学び、息子に教えました。中学になってから部活で礼拝等に来なくなるのを心配しているより、いっしょにスポーツをしよう。いっしょにスポーツをして親子の絆を深めようという動機で始めました。

息子は、私のことを「鬼コーチだった」と言いますが、練習は厳しく指導しました。どうせやるなら中途半端にしたくありませんでした。教会堂のホールを使い７年間ひたすら練習し、いよいよ高校生になり試合に臨みました。デビューから８連勝し、関東大会で優勝した時には、「あの厳しい練習はこの時のためだったんだよ」と言ったのを覚えています。活躍すると、インターハイ、国体、全日本選手権と日本各地を遠征しましたが、家内が働き私の遠征費を工面してくれました。感謝しています。

今、私たちは家族で新しい場所に教会開拓をしています。息子は、将来牧師になることを志していて、今度は彼を神学生としてコーチングしています。開拓、２年目に入りましたが、最初に始めたミニストリーは、スポーツチャンバラを教えるサムライ道場とＢＯＸＩＮＧクラブでした。２つのスポーツクラブを開設し、地域の方々を会堂に招きました。今、子どもたち、若者、女性、中年男性など４０名ぐらいの方が会員として登録して、いっしょに汗を流し、スポーツを楽しんでいます。そういう関係作りをしている中で、キッズの礼拝に数組の家族が出席するようになったり、月一度の伝道的な集会 VIPCafé や礼拝に出席する方々が起こされています。BOXING クラブ、サムライ道場が地域の方々との良き交流の場所となっていることを感謝し、スポーツをやって来たことが今このような形で用いられていることを神様に感謝しています。



高校時代の伊藤走さん（左端）と
現世界チャンピオンの井上尚弥選手（右端）▲

ビクトリー・チャペル聖書教会　伊藤走（長男）
「なぜ日本一になれなかったのか」

小学３年生の頃、父の勧めでボクシングのトレーニングを始めました。学校から帰ってきた後、父と二人で教会堂のホールを使って練習に勤しみました。父の指導は厳しく、涙はもちろんのこと、実際に血が出ることもありました。中学生時代には日本チャンピオンとのスパーリングで、２回胸骨を骨折しました。自分の志で始めたわけでもないボクシングなのにもかかわらず、それでも練習を続けることができたのは、私が父を信頼していて大好きだったからに他なりません。（もちろん母のこともです）父は牧師の働き、特に児童伝道（公園で子供を集めて集会をしたり、子供たちの家々を訪問したりしていました）と、しそ巻きの配達（当時、生計を立てるために両親がしていた副業）で忙しいにもかかわらず、ボクシングの練習だけでなく、私と遊ぶことに多くの時間を割いてくれていました。私の骨が折れても、心が折れなかったのは父と母の愛があったからです。そして、ボクシングのトレーニングを通して父と私の絆はより深いものとなりました。目標は「日本一になること」でしたが、日本二位の壁を越えることはできませんでした。今振り返ってみると、その原因が思い当たります。当時の私はボクシングを始めたその日からボクシングをやめる最後の日まで、「主体的」に考えて練習をしたことがありませんでした。父に言われたことに対しては素直に取り組みましたが、それ以上のことはしなかったのです。また、父以外の指導者と接する機会もありましたが、その時もその指導者に言われた通りの動きをしました。複数の指導者の指示を素直に受け入れた私の動きは、一貫性のない中途半端なものになってしまったのです。このことが私が日本一になれなかった大きな要因であり私にとっての教訓です。

２年前、「牧師になりたい！」という思いが与えられ、去年の４月、C-BTE アンテオケスクール（仙台バプテスト神学校の教会主体の神学教育）に入学しました。父に牧師として生きる術をコーチングしてもらっています。１４年間のボクシングトレーニングで学んだ教訓を無駄にするわけにはいきません。主体的に聖書に向き合い、十分に整えられた働き人を目指します。

ビクトリー・チャペル聖書教会　伊藤悦（牧師夫人）
「父と息子」

息子と何かスポーツをしたいと父は思った。スポーツチャンバラのインストラクターの資格を取り、５才の息子とその友達数人を集め、道場をスタートした。会堂の１階ホールは男の子たちの元気で楽しそうな声であふれた。スポーツチャンバラでなかなか筋の良い息子の姿を見て（親バカです…）今度は動きが似ているボクシングをさせようと父は考えた。未経験であるのに本で学び、ビデオを見て研究した。（教えの賜物は聖書だけに留まらず、スポーツでも生かされた！）

父は３年生になった息子とボクシングの練習を始めた。サンドバックを吊るし、パンチングボールを取り付けた。１階ホールはボクシングジムみたいだった。真剣で厳しいトレーニングが続けられ、２人で日本一を目指した。日本一の夢は叶えられなかったが、それ以上のものを神様は与えてくださった。（母から見て）①負ける経験。（泣くほど悔しい負けを何度も経験し、それを乗り越えてボクシングをやり続けたことは、息子の心を強く鍛えたはず。）②大学進学。（貧しい牧師家庭には大学に進学させることはなかなか難しい。しかしスポーツ推薦で入学、卒業！感謝！）③絆。（２人は一つの目標を目指したことで同志となり、固い絆が生まれた。今、父と同じ牧師を目指して勉強中。ハレルヤ！）